

別紙

凸版情報加工株式会社 福山工場 温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

事業者名：凸版印刷株式会社

事業所名：福山工場（凸版情報加工株式会社）

(2) 事業所の所在地

〒720-2113 広島県福山市神辺町旭丘 4

(3) 業種

業種名：オフセット印刷業（紙に対するもの）

事業コード：1511

(4) 事業所位置図

別紙（1）のとおり

2 計画の期間

本計画の期間は、平成22(2010)年度を基準年度とし、平成24(2012)年度から平成28(2016)年度までの5年間とする。（※弊社環境アクションプランと連動。）

3 計画の基本的な方向

【凸版印刷株式会社 中四国事業部 環境方針】

凸版印刷株式会社西日本事業本部中四国事業部は地球環境保全が人類共通の最重要課題のひとつであることを考え、当社の経営信条及び環境に対する基本理念である「トッパングループ地球環境宣言」の基本方針に基づき、製造・販売のための業務を行うにあたり環境に配慮した下記の活動を推進します。

- (1) 当事業部の事業活動が環境に与える影響を捉え、技術的、経済的に可能な範囲で環境目的、目標を定め、定期的に見直し、環境保全活動の継続的改善を行います。
- (2) 当事業部の事業活動に関わる環境関連の法令、協定、その他の要求並びに自主管理基準を遵守し、環境汚染の予防に努めます。
- (3) 常に環境への影響を考え、環境負荷を可能な限り小さくする製品・サービスを積極的に提供します。
- (4) 当事業部の事業活動が、直接的に環境に影響を与える事項に関しては、目標を定め、環境保全活動を推進します。
- (5) この環境方針は文書化し、当事業部のすべての従業員に周知徹底するとともに、外部の人々にも広く公開します。

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	活動の区分	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
		平成2年度	基準年度 平成22年度	直近年度 平成23年度
二酸化炭素	燃料の使用	平成3年9月 創業	1,131	1,243
	他人から供給された電気の使用	平成3年9月 創業	6,032	6,915
合 計			7,162	8,158

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	活動の区分	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
		平成2年度	基準年度 平成22年度	直近年度 平成23年度
二酸化炭素				
合 計				

【その他温室効果ガス】

温室効果ガスの種類	活動の区分	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
		平成2年度	基準年度 平成22年度	直近年度 平成23年度
メタン				
一酸化二窒素				
HFC PFC SF ₆				
合 計				

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 年度)	削減目標		目標年度 (平成 年度)
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)
エネルギー起源CO ₂				
非エネルギー起源CO ₂				
メタン				
一酸化二窒素				
フロン類				
温室効果ガス 実排出量総計				
温室効果ガス みなし排出量				
目標設定の考え方				

※ 削減率(b) = (c) / (a) × 100 削減量(c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：印刷生産量 (千万通し)

※通し：印刷の色数をいい、1枚当り表4色、裏4色ならば8通しとなる。

単位：排出量(t-CO₂)，原単位量(千万通し)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成22年度)			原単位 削減目標	目標年度 (平成28年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO ₂	7,162	611.8	11.71	5	6,128	551.2	11.12
非エネルギー起源CO ₂							
メタン							
一酸化二窒素							
フロン類							
総排出量	7,162	611.8	11.71	5	6,128	551.2	11.12
エネルギー消費原単位 (原油換算kl)			4.737	6			4.453
目標設定の考え方	エネルギー起源CO ₂ は平成24年度より原単位ベース年 1% の削減率						

※ 削減率(d) = {(c) - (g)} / (c) × 100 原単位(c) = (a) / (b) 原単位見込(g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組み等

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	燃料使用量の削減	LPGを原単位で 18.5% 削減	・生産効率低下の印刷機を廃棄 (オフセット輪転機 SA-01号機)
2	電力使用量の削減	電力を原単位で 2.5% 削減	・インバータ機器への更新 (コンプレッサ、空冷クーラー) ・高効率照明器具への更新 ・デマンド制御による空調停止 ・空調温度管理 ・休息時間の消灯 ・照明の閉引き ・生産効率低下の印刷機を廃棄 (オフセット輪転機 SA-01号機 オフセット枚葉機 B-143号機)
3			
4			

※原単位で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

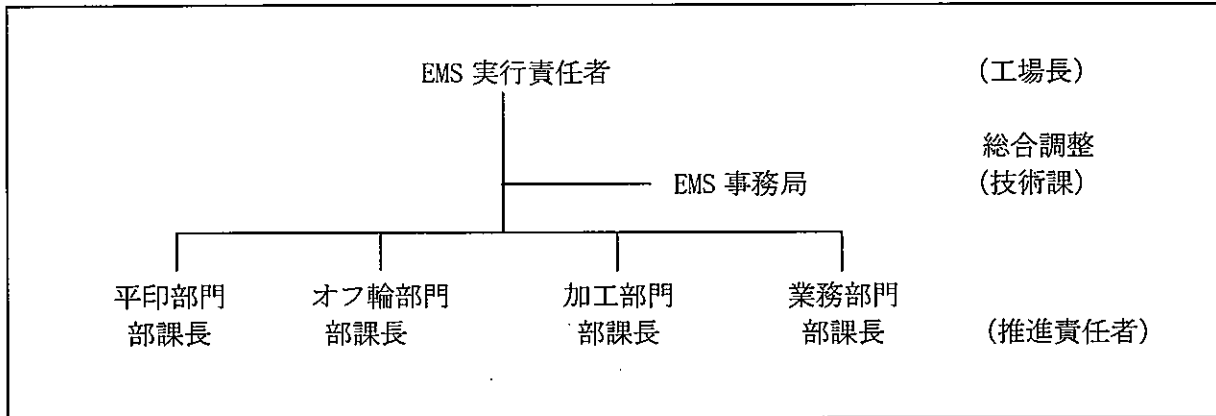
○ その他の取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	ゼロエミッションの実現	廃棄物生産量原単位を 平成28(2016)年度までに 平成22(2010)年度比で 6% 削減する (2.07 ⇒ 1.95)	・再資源化の推進 ・リサイクル率の向上
2	環境汚染の防止	特定化学物質の取扱量を 平成28(2016)年度までに 平成22(2010)年度比で 50% 削減する (1,503kg ⇒ 752kg)	・特定化学物質含有洗浄材の 代替化推進
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

(1) 推進・点検体制



※EMS : Environmental management systems (環境マネジメントシステム)

(2) 実施状況の点検・評価

当社の温室効果ガスはエネルギー起源CO2であることから、エネルギー使用量(燃料、電力量)にて管理することとし、毎月のEMS委員会にて評価・見直しを行い継続的改善を図る。

また、温室効果ガス削減計画の取組状況について毎年度末、経営者によるISO14001マネジメントレビューへ報告するとともに評価・見直しを行う。

(3) 計画書等の公表

温室効果ガス削減計画書は、事業所にて環境方針とともに閲覧可能とする。